

## 北西太平洋サンマ中短期漁況予報

-分布回遊状況解析調査に基づく実用化試験-

### 1. 今後の見通し

予測期間: 2009年12月上旬から12月下旬までの旬別

対象海域: 道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業: さんま棒受網漁業

対象魚群: 南下回遊群

#### 1) 道東海域

(1) 来遊量:

(2) 漁場: 漁場は形成されない。

#### 2) 三陸海域

(1) 来遊量: 来遊量は減少し、12月上旬は断続的となり、終漁となる。

(2) 漁場: 12月上旬は、金華山沖に漁場は残るが、散発的となり終漁となる。

#### 3) 常磐海域

(1) 来遊量: 来遊量は徐々に減少し、12月上旬は中位水準、12月中旬～下旬は低位水準となる。

(2) 漁場: 12月上旬は、金華山～犬吠埼の広範囲に漁場が形成される。12月中旬には、常磐北部の漁場が消滅し、12月中旬～下旬は小名浜～犬吠埼沖に漁場が残る。

### 2. 予測の概要

海 域		12月上旬	12月中旬	12月下旬
道東海域	来遊量			
	動向			
	漁 場			
三陸海域	来遊量	— →		
	動向	断続的		
	漁 場	金華山沖		
常磐海域	来遊量	↘	↘	↘
	動向	中位減少	低位減少	低位水準
	漁 場	金華山～ 犬吠埼沖	小名浜～ 犬吠埼沖	小名浜～ 犬吠埼沖

### 3. 漁況の経過概要

(11月中旬)

#### 1) 道東海域

漁場は形成されなかった。

#### 2) 三陸海域

##### (1) 来遊量

資源量指数から判断した来遊量水準は、11月上旬と前年を下回り、低位水準となった。日別CPUE(1網当たりの漁獲量)から判断すると、来遊量は徐々に減少した。

##### (2) 漁場

三陸海域の主漁場は、女川～金華山沖であった。

女川東～金華山南東沖の10～25海里付近(表面水温14～17)。ほぼ連日、大型船数隻～10隻程度と小型船数隻～20隻程度が操業。大型船で10～60トン程度漁獲。

##### (3) 魚体

26～29cmモードの中型魚が主体で、30～31cmモードの大型魚が混じる。

#### 3) 常磐海域

##### (1) 来遊量

資源量指数から判断した来遊量水準は、11月上旬と前年を下回ったものの、高位水準であった。日別CPUE(1網当たりの漁獲量)から判断すると、来遊量は期前半にやや減少したが、期半ばに再び増加した。

##### (2) 漁場

常磐海域の主漁場は、請戸沖と小名浜～犬吠埼沖であった。

請戸東南東30海里付近(表面水温14)。20日夜に大型船が数隻操業し、15トン程度漁獲。

小名浜東20～35海里～犬吠埼東15～30海里付近(表面水温14～18)。連日大型船が数隻～60隻程度と小型船数隻～10隻程度操業。大型船で数トン～125トン漁獲。

##### (3) 魚体

26～29cmモードの中型魚と30～32cmモードの大型魚が主体。大型魚の混じり具合は三陸海域より多い。